

## 4. 環境保全対策に伴う経済効果

### 4.1 環境保全対策に伴う経済効果の算定の方法

実質的効果における収益は、確実な根拠に基づいて算定される、環境保全活動の結果としての当期における収益であり、当期において実現した収益をそのまま計上することとなる。

一方、実質的効果における費用節減は、基準期間における費用と当期における費用の差を、実施した環境保全活動の結果として、当期に発生が回避された費用としてみなし算定する。

$$\text{環境保全対策に伴う経済効果（費用節減）} = \text{基準期間の費用} - \text{当期の費用}$$

なお、基準期間と当期とで、事業活動量が大きく異なる場合は、事業活動量の増減を踏まえ、基準期間の費用を調整して、当期の費用との差を把握することも考えられる。この場合には、調整した計算結果であることを明記するとともに、実態の費用も併記することが望まれる。

$$\begin{aligned} &\text{基準期間との事業活動量調整比較による環境保全対策に伴う経済効果(費用節減)} \\ &= \text{基準期間の費用} \times (\text{当期の事業活動量} \div \text{基準期間の事業活動量}) - \text{当期の費用} \end{aligned}$$

## 4.2 環境保全対策に伴う経済効果の項目例

鉄道事業において代表的と思われる、環境保全対策に伴う経済効果の項目例を以下に示す。

環境保全対策に伴う経済効果 計上項目・細目例

効果の内容		計上項目・細目例(内訳)				
収益	主たる事業活動で生じた有価物等のリサイクル又は使用済み製品等のリサイクルによる事業収入	(円)	金属類の売却収入	(円)	車両整備時金属くず、電線くず(被覆銅線)、電線くず(アルミ線)、裸銅線(トロリ線含)、裸アルミ線、鉄くず(レール含)、古機械器具、その他の金属くず	
			中古車両売却収入	(円)	車両	
			古木等の売却収入	(円)	枕木等	
			古紙の売却収入	(円)	廃切符	
			鉄道部品等の売却収入	(円)	部品等	
( )	(円)	( )	(円)			
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減額	(円)	電力	(円)	省エネルギーによる購入電力節減 自然エネルギー利用(太陽光、風力等)に伴う購入電力削減見込分	
			都市ガス	(円)	省エネルギーによる購入エネルギーの節減	
			A重油	(円)		
			灯油	(円)		
			LPG	(円)		
			熱供給	(円)		
			ガソリン	(円)		
			軽油	(円)		
	節水、水の再利用、地下水等の有効利用による費用節減	(円)	上水道	(円)	節水設備導入等の節水 中水利用 雨水利用 湧水利用	
			下水道	(円)	地下水の河川放流による下水道料金節減	
	紙使用量の削減による費用節減	(円)	OA用紙等	(円)	OA用紙、連続用紙消費量節減	
			乗車券用紙	(円)	IC乗車券導入による乗車券用紙使用量の削減	
	その他の省資源・再利用による費用節減	(円)	制服	(円)	貸与制服	
タオル			(円)	貸しタオル		
リデュース、リサイクルに伴う廃棄物処理費用の削減	(円)	廃棄物処理費	(円)	廃棄物の発生抑制による処理費節減 廃棄物のリサイクルによる処理費節減		
その他	(円)	PCB 廃棄物処理早期登録による費用節減額	(円)			
( )	(円)	( )	(円)			